

知っていますか？ 中国残留邦人等のこと

为了加深对遗华日本人理解的论坛会

中国残留邦人等への 理解を深めるシンポジウム

入場無料

要申込

定員

500名様

戦後68年が経過し、戦後生まれの世代が人口の7割を超えている現在、
中国残留邦人等への理解を深め、次世代へ語り継ぐ機会としてシンポジウムを開催します。

日時

2014年2月8日(土)

13:00~17:00(開場12:30)

会場

太白区文化センター

「楽楽楽ホール」

仙台市太白区長町5丁目3-2 TEL.022-304-2211



Access

交通のご案内

- 地下鉄
仙台駅から富沢行きで8分、長町駅で下車。(南1番出口から直接建物の地下1階へ入れます)
- JR
JR仙台駅から東北本線または常磐線上り方面行きで4分、長町駅で下車。徒歩3分

パネルディスカッション

パネリスト

コーディネーター



きしい しげただ
岸井 成格氏
(TBS「ニュース23」アンカー)

やぎゅう さとこ
柳生 聡子氏
(フリーアナウンサー)

演劇上演

仙台シニア劇団まんざら『花いちもんめ』



プログラム ※会場では、あわせてパネル展示も行います。

13:00	開会あいさつ
13:15	演劇上演 仙台シニア劇団まんざら 『花いちもんめ』
14:45	休憩
15:00	パネルディスカッション パネリスト ●岸井 成格氏 ●中国からの帰国者の皆さん コーディネーター ●柳生 聡子氏
16:45	中国帰国者の皆さんによる合唱
17:00	閉会

このシンポジウムは、日本語から中国語への同時通訳を行います。
本次论坛会会进行日中同步翻译。

主催 厚生労働省

後援 宮城県、宮城県教育委員会
仙台市、仙台市教育委員会

URL www.zanryuhojin2014.jp

パネルディスカッション

■ パネリスト

岸井 成格氏
(TBS『ニュース23』アンカー)

1944年(昭和19年)、東京都生まれ。1967年(昭和42年)慶應大学法学部卒業後、毎日新聞社に入社。政治部、ワシントン特派員、論説委員、社長室委員、政治部長を歴任。その後、編集局長、論説委員長、主筆を経て特別編集委員。現在、TBS『NEWS23』にアンカーマンとして出演中。また、TBS『サンデーモーニング』でコメンテーターを務める。

中国からの帰国者の皆さん

■ コーディネーター

柳生 聡子氏
(フリーアナウンサー)

京都府生まれ。お茶の水女子大学卒業後、1994年(株)仙台放送テレビ入社。ニュース番組を中心に出演。2002年よりフリーランスで活動し、2005年慶応大学社会学研究科修了。2012年春からNHK仙台放送局の情報番組にてメインキャスターを務める。

1945年(昭和20年)当時、中国東北地区(旧満州地区)には開拓団など多くの日本人が居住していましたが、同年8月9日、突然のソ連参戦により、人々は居住地を追われ、逃避中や収容所では飢餓や伝染病等により死亡者が続出するという悲惨な状況にありました。

このような混乱の中、肉親と離別して孤児となり中国の養父母に育てられたり、中国人の妻になるなどしてやむなく中国に留まった方々を「中国残留邦人」といいます。

※残留邦人の一部には、樺太や旧ソ連本土に残留されていた方もいることから「中国残留邦人等」と総称しています。

支援の現状とシンポジウム

国や自治体では、1972年(昭和47年)の日中国交正常化以降、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進と定着後の自立を支援するため、身元調査などの永住帰国の支援や、各種研修施設での日本語研修などを行ってきました。一方で、中国残留邦人等の方々は、長期の残留により言葉、生活習慣、就労等の面で様々な困難に直面していました。

これを受け、2008年(平成20年)4月から「新たな支援」として、中国残留邦人等のうち一定の条件を満たす方に対して「満額の老齢基礎年金等の支給」と「支援給付の支給」を、また全ての中国残留邦人等の方々に対して「地域社会における生活支援」を開始しました。

今回のシンポジウムは、地域社会での支援の要となる地域住民の皆様へ中国残留邦人等への理解を深めていただくとともに、次代を担う若者に中国残留邦人等の方々の経験を語り継ぐことを目的として開催します。

演劇上演

『花いちもんめ』ある母親から明かされる歴史の真実

劇作家・宮本研(みやもと・けん)の戯曲。戦前、開拓団として渡った旧満州で娘を「亡くした」と話す遍路姿の女性。舞台が進むにつれ、実は娘は死んだのではなく、現地で中国人に預け渡したことが明かされる。自責の念にかられて生きてきた女性の語り、母と子の絆や、子を預けざるを得なかった苦悩、戦争の残酷さを静かに訴える。【演出】大石和彦
第38回全国高等学校演劇大会(1992年)で札幌静修高校が上演、最優秀賞を受賞。

仙台シアタートラム「まんざら」:平成22年に仙台市が高齢者の健康維持と生き甲斐作りを目的に市民からの公募で設立した地元密着の劇団。平均年齢68歳と残留邦人と同世代。

パネル展示

貴重な記録写真を
選りすぐって展示

終戦直後の中国大陸の日本人や、残留邦人の帰国時を捉えた記録写真を、当時の新聞記事による解説を交えて展示。残留邦人の方々が所有する貴重な写真も紹介します。

お申し込み方法

参加ご希望の方は、名前(ふりがな)、郵便番号・住所、電話番号、性別、年齢、職業と中国語同時通訳の要・不要を明記し、郵便かFAX、インターネットよりお申し込みください。

郵便

下の申込書にご記入のうえ、封書でお送りいただくか、はがき上記必要事項を明記し、下記までお送りください。

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-2-7 「中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム」事務局

FAX

下の申込書にご記入のうえ、右記までお送りください ▶ FAX:03-3291-5051

インターネット

ホームページからお申し込みいただけます ▶ www.zanryuhojin2014.jp

申し込みバッチリ

1月24日(金)必着(当日消印有効)

お申し込み
お問い合わせ

「中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム」事務局
TEL:03-3518-9755(受付時間 10:00~17:00 土日祝除く)

お問い合わせ

東北中国帰国者支援・交流センター TEL:022-263-0948(受付時間 8:45~17:00 土日祝除く)
※有用中文进行咨询的对应(中国語でのお問い合わせに対応いたします)。

このシンポジウムでは、日本語から中国語への同時通訳を行います。ご希望の方には、当日会場でレシーバーをお貸しいたしますので、参加お申し込み時に、あわせてお申し込みください。(本次活动中会进行日中同步翻译。当天会向需要者出借同步翻译语音接收器,有需要者请在报名手续时,同时提出申请。)

※応募者多数の場合は抽選となります。当選者の発表は聴講券の発送をもってかえさせていただきます。

※お申し込みいただいた個人情報は、主催者および運営事務局が厳正に管理し、聴講券の発送および当シンポジウムの受付管理のみに使用いたします。

申込書 FAX:03-3291-5051

お名前 ふりがな	性別 男・女	年齢 歳
ご住所 〒		
電話番号	職業	中国語同時通訳 要・不要

※シンポジウムのお申し込みにはお名前の登録が必要となります。複数でのお申し込みの場合は、コピーをおとりになり人数分ご記入いただくか、別紙に同事項をご記入のうえお申し込みください。